

未来づくり懇談会（矢板一区）会議録

日 時：平成28年11月8日（火）

19:00～20:15

場 所：矢板一区自治公民館

出席者：市長、教育長、総合政策課長、
総務課長

1 開 会 19:00 進行：秘書広報課長

2 あいさつ 矢板市長

3 出席者紹介

4 矢板市設定テーマ

○中心市街地活性化について

・資料に基づき、人口推計等について説明。

Q1 中心市街地活性化について、矢小の生徒数が減少しているという話があったが、矢板駅東エリアの再開発が効果をあげているとも考えられる。一区を中心に考えると道の駅周辺は開発の余地があると思うが、どう考えているか。

A1 道の駅周辺は農振農用地のため農振法、農地法による縛りが強く、簡単に農振除外、農地転用が出来ない。大田原331号線と比較して考えると、開通した当時は両サイドが田んぼだったが、道路が抜けてすぐに開発が進んだ。矢板市の道の駅周辺、バイパス沿線についても、バイパス開通と併せて農振除外手続きをし、開発しやすい環境を整備することが必要だったと思う。農振法は田んぼの真ん中をぽつんと開発することはダメなので、今開発している所から徐々に開発していく余地はあると思う。順を追ってバイパスの東側、道の駅に隣接する所から開発を促していき、その結果、商業施設や分譲住宅が出来ていけば人口のV字回復も図れていくかと思う。ただ、農地を持っている方の考えを聞き、調整することが必要だと思う。

平成29年9月	矢板都市計画区域における土地利用方針を策定。 矢板駅西の新市街地エリアについては、優良農地との調和を図りながら、適切な土地利用を促していく。
平成30年4月	「暮らしのびのび定住補助制度」の拡充。 矢板駅西地区と矢板那須線バイパス周辺を含む新市街地エリアの住宅取得について「特定地域加算」を追加。

Q 2 一区は70戸と戸数が少なく、大きい行政区と肩を並べて行事をこなすのは、行政区運営が厳しいと思っている。行政区も200～300人のレベルにして欲しい。同じ役員が5年、6年もやっている状況なので、大きな行政区単位にしていく必要があると思う。上からこうしましょうというスタイルでいかないと難しいと感じている。

A 2 三区の懇談会でも同じ意見があり、一、二、三区位のまとまりにしたらどうかとの提案があった。市役所主導ということだが、市からこうしろというのはなかなかうまくいかず、溝が深まる可能性もある。市役所で計画を作り再編成するのは難しいと思うが、機運が高まってきて合併協議会を持つような場合は区長さん方の背中を押すような、お手伝いさせていただくこともあるかもしれない。人口減少の中で今までの行政運営は難しいと感じている。

Q 3 一区の公民館の地盤がずれていて、戸が閉まらない状況で苦しんでいる。空き家対策の中で公民館として適した建物があれば借りられるようにする方策も経費節減をするという意味でも大切だと思うが。

A 3 本年度から空き家対策を充実させるために中心市街地で建物現況調査をする準備に入った。その中で空き家の状況を調べ適するものがあれば、ご紹介が可能になるかと思う。

平成 29 年 6 月	空き家バンク実施
平成 29 年 8 月～12 月	現況調査結果等に基づく空き家の実態調査（詳細調査）を実施
平成 30 年 3 月	空家条例制定
平成 30 年度	空家計画策定予定

5 意見交換

Q 1 県道矢板那須線が時間帯によって込む。北方面は宇都野まで行かないと、対岸に渡れないので、下伊佐野の辺りで向こうに渡る橋があれば良いと思う。

A 1 矢板から大田原にかけて国道4号のバイパス計画が具体化しているので、整備により橋が架かることになるので渋滞緩和にもなると思う。

Q 2 J T跡地のフットボールセンターについて、市の考えを伺いたい。

A 2 J T跡地は今年2月下旬に小山市とともに、候補地として正式に選定された。小山と矢板の2カ所が選ばれたことで、補助金額では矢板が7,000万円、小山が3,000万円となったことや、県サッカー協会で補助金額の算定誤りにより、1億500万円ほど当初見込んでいた額よりも補助金額が少なくなった。整備費や維持管理費も膨大な額となるので、民間活力導入を切り口にした詳細な調査をシンクタンクにお願いしている。採算性や利用状況をよく調査して改めて市民の皆さんにご報告させていただく。

平成 28 年 9 月	民間活力導入可能性調査業務を委託
平成 29 年 6 月	民間活力導入可能性調査の結果を議会全員協議会で報告。
平成 29 年 7 月	NPO 法人たかはら那須スポーツクラブから民設民営での実施提案書提出。
平成 29 年 10 月	事業計画検証業務を委託 検証結果、実現可能性ありと報告。
平成 29 年 12 月	12 月定例会で NPO 法人たかはら那須スポーツクラブに施設整備及び運営を委ねる旨を表明。

Q 3 フットボールセンター誘致の際に、スタジアムが出来るなら立地条件が良いので署名された方が多くいるのではと思いますが。

A 3 残念なことにそのような誤解が広がっているところがある。今からでも、スタジアムにすればという話もあるが、都市計画法上の第 2 種住居地域の指定がされているので、最初からスタジアムや観客が入る施設は造れない前提で署名を行っていた。

Q 4 防災無線の音が全く聞こえないが、この地域の防災無線はどこに設置してあるのか。

A 4 市役所前に設置している。聞こえないという意見は多く頂いているが、一方でスピーカー近くの方からは音が大きすぎるとの意見もある。聞こえない方には、携帯のメールや電話での確認をお願いしている。

平成 29 年 5 月	防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布
平成 29 年 6 月	防災メール登録及び防災行政無線放送確認電話番号のチラシを全戸配布。
平成 29 年 11 月	防災行政無線放送確認するためのフリーダイヤル（通話料無料）電話番号のチラシを全戸配布。
平成 30 年 1 月	防災行政無線の聞こえ方調査を実施

○ 1 市内道路清掃について、自宅前と交差点はみんなの手分けして清掃しているが、市役所前の道路はあまりなされていないと思う。市職員も市民と目線を合わせて、考えていただきたい。

平成 29 年 6 月～	定期的な沿道植込み等の清掃を実施。
--------------	-------------------